

ランチパーティー

なかしゅんぱー



「北海道をもっともっと食べようランチパーティー」
が中標津ウエディングプラザ寿宴にて11月28日(木)開催
されました。道産米を始め鮭ハンバーグ、トマトクリ
ムソースやジャーマンポテトライス、ゴーダチーズの
せなど北海道の味覚を堪能しました。



12月号

2015 Vol. 455

農水省生産局畜産部との意見交換 並びに国会議員への要請を実施

中春別酪農対策協議会(西川寛稔会長)では11月16、18日にかけて、中央要請を実施しました。

初日は、農林水産省を訪問し、酪農主産地における当地区の実態と現状を伝えるながら最近の酪農畜産をめぐる情勢や畜産クラスター

関連事業およびスーパー資金を中心とした各種資金対策・TPP大筋合意に係る道内への影響について意見交換を行いました。

2日目には、衆・参両議院会館へ出向き、各国会議員に酪農畜産政策に関する政策提案書を提出し、家族経営が引き続き営農を継続し次世代へ継承できる各種対策の充実や担い手対策の強化・草地更新事業の充実について、限られた時間の中で精力的に要請活動を実施いたしました。(要請者)



- 会長 西川寛稔
- 副会長 渡邊 覚
- 副会長 高橋真悟
- 副会長 浮川 優
- 常任委員 齋藤道子
- 常任委員 佐藤清美
- J A 中春別
- 副組合長 藤倉紀夫
- 事務局 水谷
- 計8名

農場の実態・酪農青年達が抱く将来への思いを訴える

農水省との意見交換会を実施

青年部(兼松真武部長)では、青年部役員8人参加のもと11月19日(木)に農水省生産局畜産部、消費・安全局動物衛生課との意見交換会を実施いたしました。

青年部では2年に1度、農水省との意見交換を行っており、単独組合の青年部での意見交換会は全国的に見ても極めて珍しい取り組みです。事前に農協内で勉強会を行いました。

当日は農水省より昨今の酪農情勢、平成28年度予算概算要求について説明をいただき、意見交換へ移りました。意見交換会は、畜産クラスター関連事業や、資金関係や乳価、家畜伝染病の防疫、雇用についてなど、日頃実感する営農に関する様々な意見について限られた時間の中で伝える事が出来たことと思われま



(参加者)

- 部長 兼松真武、副部長 野矢貴志、千葉悟
- 理事 山田晃嗣、藤倉香津靖、相澤孝太、
- 監事 小西祐司、平井優一
- 事務局 水谷、山下



別海町教育委員会教育委員長より感謝状と楯を受け取る南澤三郎氏

別海町の文化向上に寄与した功労を讃え、その功績を表彰する平成27年度の別海町文化功労賞に豊原地区・南澤三郎氏が受賞され、11月24日(火)に別海町役場内にて授賞式が行われました。

30年以上にわたり写真を撮り続け別海町の文化向上に貢献

南澤三郎氏別海町文化功労賞を受賞



南澤さんがカメラを始めたのは学生の頃、親にカメラに買ってもらったのが始まり。モノクロの時代から現在のデジタルまで30年以上にわたってカメラを趣味としてきました。20歳の時、この地へ独身で入植され、酪農が軌道にのるまでは無我夢中で仕事に没頭され、何とか仕事にも余裕ができた始めた30歳の頃から、再びカメラを手に写真を撮り始めました。当時の仲間と共に自分たちで現像した作品を出展したところ、写真二科展に4回、写真道展入賞2回、

北海道写真二科展に推薦5回、入選5回など輝かしい実績を残されました。

そんな南澤さんも中春別農協の監事としての任に就いた時から、引き受けた以上はその重責を果たさなければと思い15年間カメラをおきました。

南澤さんにとって写真は、「あそこへ行つてこういう写真を撮ろう」と始めから構図を考えて撮る写真と、「偶然の出会い」を求めてカメラをいつも携え、その出会いのシャッターチャンスを見逃さず一瞬を撮る。

それは今までの経験値がものをいい、瞬時に構図を考え「その瞬間を切り取って写真に残す」それが写真の面白さだよ」と。撮影を終えて帰宅しパソコンでJPGを開き、「自分の思っていた通りの写真が画面上に出た時が何とも言えない」と顔がほころびます。

79歳にして2台のパソコンを駆使し、写真のトリミングや色正補正をするなど道東の四季や別海町を中心意欲的に創作活動を続けている南澤さん。後輩の育成と指導をしながら写友「北風」の仲間と共に写真を審査しあい、趣味を共有し楽しんでいます。

平成27年度 根室地区JA青年部大会



「MOVING IT」眼前の困難を乗り越える」と題した根室地区JA青年部大会が11月6日(金)ウエディングプラザ寿宴にて開催され、地区内の盟友が一堂に集いました。

当地区のアームレスリング代表で上神大地さんが出場しました。大会が始まる前は、久しぶりに会う他地区の盟友同

志で近況報告など談笑していました。大会は根室地区青協の安達会長から「平成27年度道産農畜産物求評研修会(略

青年部
地区大会

MOVING IT
～眼前の困難を乗り越える～



講演はJA道青協参与の黒田栄継氏(JAめむろ青年部)を招き「今、青年部に求められていること」と題し



て、JA改革の最前線で活動され、全国各地を周って感じた実体験を基に、「日本の各地で、農家の高齢化や兼業の問題のため青年部活動ができない地区も少なくありません。しかし、こうしてこの会場を見渡すと多くの若者がいます。自分も青年部に加入したころは消極的でイベントや活動に進んで参加するタイプではなかったが、先輩達が連れ出してくれたおかげで今の自分がある。また初めから、青年部活動の目的や何のために活動しているかわからないかも知れませんが、参加していくうちに解ることがあります。よく、未来は皆さん若者達にかかっていると聞く事が多いと思いますが、その通りで思い立ったら行動すべきです」と若手部員の刺激になる貴重なお話をいただきました。

アームレスリング大会に
上神大地さんが挑戦!

各地区対抗のアームレスリング大会では、各地区から腕っぷし自慢の青年部員5人が集まり、大会直前の



抽選会からシード権の行方が誰になるかと、会場は緊迫した雰囲気になりました。中春別地区代表の上神大地さんはシード権を得られなかったものの、第一試合目となり出場選手達を始め会場全体が注目する中、対戦相手の計根別地区の赤池祐介さんと腕をがしつと組み合い、間合いを取った後、レフリーの「ゴー」の掛け声で試合が始まると、数秒間は、ほぼスタート位置でこう着状態になり、会場から「いいぞ!」「がんばれー!」と声援が飛びました。どちらに勝敗がつくか分からない勝負となりましたが、力尽きてしまいました。今回、代表として出場していただいた上神大地さん大変お疲れさまでした。

「食の大切さ」「いただきます」の 本当の意味を将来の先生たちに伝えたい

根室農協青年部連絡協議会(安達永補会長)主催の「農と学びの連帯を考えるフォーラム2015 in根室」が12月7日(土)ウエディングプラザ寿宴にて開催されました。

地域住民の農業に対する理解も深めてもらいたいという事で、酪農家をはじめ、農

がこれまでの実習内容のスライドショーで紹介し、「学生に生産の現場をそのまま伝えてほしい」と強い思いを語りました。

この後のパネルディスカッションでは安達会長、玉井キャンパス長ら5人が「食・

の教育現場で必要とされる資質」、安達会長は「当初、受け入れする農家はお客さんを面倒見きれないという声もあつたが、あくまでお客さんではなく、家族」として、ありのままの農家の生活を体験してもらう事で、学生も生産者も学び合い、食を通じて理解し合えるように事業を継続していきたい」と力を込めて語りました。

同協議会では平成25年から「教師の卵」である、北海道教育大学釧路校と連携して、学生を対象に酪農体験と農家へ泊まり込み2泊3日の「ファームステイ受入事業」に取組みを初めて83人の学生を受け入れしました。

まずは、酪農体験を通して「食の大切さ」「命の尊さ」「いただきます」の本来の意味を子供たちに伝えなくては農業の価値が薄れてしまう。教育の現場に落とし込む必要があると考え、本事業を開始しました。事業から3年間の成果を報告する場として、フォーラムが開催されることになりました。同教育大から玉井康之キャンパス長、宮前耕史准教授、半澤礼之准教授の3人、上



田真弓兵庫教育大学准教授、(株)ノースプロダクション近江正隆代表取締役を招き、

一般住民の約100人がフォーラムに参加しました。同協議会の久保拓伸副会長

業関係団体、学生、



地域・大学の新たな連携」をテーマに意見交換し、玉井キャンパス長は「学生が地域に育てられ、教員となり地域に溶け込むのはこれから



道内から女性部員が 5550人も集結しました!

女性部では11月5日(木)～6日(金)にかけてシャトレーゼ・ガトーキングダム サッポロで開催された、平成27年度JA北海道女性リーダー研修会・北海道家の光大会に当農協女性部から馬場良子副部長、上神佳代子理事の2人が出席いたしました。

原発事故後の福島復興への道のり

1日目は福島大学教授の岩崎由美子氏の講演「JA女性部組織活動に期待するもの」では、福島県で起こった原発事故の後、今日までの復興の道のりを話していただきました。「福島の方は作物を育てていた畑・孫たちと暮らすはずだった家・緑豊かな自然など全てを失いました。しかし、このままでは終われない!」



故郷を取り戻さなければ!と女性農業者が中心となって自分たちのできることから活動を始めています。今、福島県の浪江町では昼間は町民が出入りできるた

め限られた時間を活用し、いつかこの町に帰って来た時に綺麗な花壇で出迎えたという想いから花を植えています」など、女性が自分たちで主体的になり自分

ちの居場所を作っている取り組みを話していただきました。

質疑応答では「福島県の野菜・米農家の話しはよく聞きますが、酪農の方たちはその後どうなっているのですか? 以前ニュースを見た時に牛が野生化しているという話をききました。今はどうなっていますか?」という質問に対し「福島県の飯館村は酪農家が多い地域なのですが、ほとんどの方は残念ながら離農してしまっています。若い後継者の方は、北海道や県外で中間管理機構に土地を探しても、酪農を再開しています。だからといって故郷を捨てたわけではなく、県外に出ても地域に関わりながらできることをしています」と

JA北海道女性
リーダー研修会・
北海道家の光大会



説明していただき、会場からは大きな拍手が送られました。

研修終了後の懇親会で根室地区代表がカラオケを披露し、会場からは大きな拍手がおくられ、最後は北海道盆踊りを全員で踊り、気持ちを一つにしたところで1日目は終了となりました。

私の「家の光」 生活活用体験

2日目は前日行われた農業雑誌「家の光」の生活活用体験発表の表彰が行われ、最優秀賞にはJAサロマ女性部の鈴木浩子さんが発表

した、日高稲作農家出身で、子供の頃から親しみのあった「家の光」は酪農家へ嫁いだ今も購読し、料理レシピや野菜栽培のトラブル対処法、協同組合の講座に人生相談と内容の充実さと自らの将来を照らし合わせた「私の家の光」が選ばれました。研修を終えた後、手作り工夫(くふう)展が開かれ全道から326点もの作品が並び、JA中春別女性部からはブリザーブドフラワーで飾ったピアノの置物と、ブリザーブドフラワーのしめ縄飾り、押し花ハガキを出展しました。

作品の中には羊の毛を使ったマスコット・食べられるのではないかと!? と思うほど細かくできているフェルトのおもちゃ。牛乳パックやペットボトルのキャップなどをリサイクルしたマグネット、小物入れなど趣向を凝らした数々の作品の前で、皆さんは「どうやって作ったの!?!」「これかわいい!!」私も作ってみたいからやり方教えて! など、普段交流できない仲間とのふれあいを楽しんでいるようでした。

綺麗な花壇はまた来年のお楽しみ

女性部・園芸グループ 花壇整備

女性部と園芸グループでは10月31日(土)に花壇整備を行いました。

あいにくの天気で冷たい風が吹く中の作業となりましたが、多くの方が集まって下さったおかげですぐに作業を終えることができました。

来年度に向けて花を抜き、固まってしまっている土を耕すなどの作業をしながら

花壇はすっきり綺麗になりました。今回の花壇整備で出たゴミはなんと9袋分にもなり、今まで花壇を鮮やかに彩ってくれた花たちに感謝を込めながら作業は終了し、昼食後、押し花シール作りをして解散となりました。

女性部・園芸グループでは、来年度も農協に来てくださる方たちの心が温まるよう



親しい仲間たちと集まり 食事とゲームで親睦を深めました

女性部木の実部会 お楽しみ会

木の実部会では、11月4日(水)にお楽しみ会を開催しました。

白樺の美味しい料理を囲みながらお孫さんの話などで会話が弾みました。

話しも落ち着いたところで『空き缶釣りゲーム』を開催しました。

ルールは空き缶に割り箸と紐で作った釣竿を使って、

1分間に空き缶を多く釣るゲームなのですが、皆さん手先が器用なのかなかなか勝敗がつかず「同点だよ!もう1個がんばれー!」と応援をし合い、白熱した中ゲームを終えることができました。

最後に参加した全員にこれからの厳しい寒さに備えて、もこもこスリッパやクッションに穴が開いていて手

な花壇づくりに努めてまいりますのでよろしくお願いたします。

を温められるものなど防寒グッズを中心とした景品が渡され、大盛況の中お楽しみ会が終了しました。



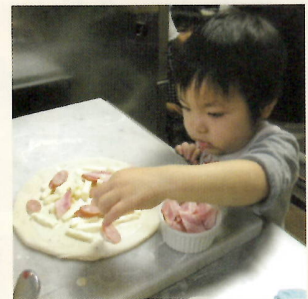
好きな具材たくさんトッピングしたよー

女性部・フレッシュミセス部会 ピザ作り&ランチ会

フレッシュミセス部会では11月19日にカジュアルキッチンピエトラの石森秀芳さん講師の元、ピザ作り&ランチ会を開催しました。

ピザ生地は石森さんに伸ばしてもらったのですが、生地を伸ばすために空中へ放ると参加者の皆さんからは「いつもテレビで見ているのはパフォーマンスじゃなかったのね!」と歓声があがり、ムービーを撮っている方もいらっしゃいました。最初の1枚は子ども達から!

1人ずつ好きな具材をたくさん乗せていきます。トッピングが完成したらピザ窯へ入れあつという間に完成です。焼きあがったピザが運ばれてくると「おいしそう!」「早く食べたい!」と大盛り上がり。自分たちで彩ったピザは格別なようでした。子どもたちの次は参加者1人1枚ずつトッピングをしていきます。トッピングのコツはピザソースの後チーズをまんべんなくたくさん乗せること、そうしないとチーズが乗っていない部分が浮いて焦げてしまうそうです。トッピングをブロックごとに分け1枚で2回楽しめるピザを作るなど1人ひとり個性の出たピザができました。もちろん味もパーフェクトで参加者の皆さんは大満足なようでした。



早朝より11人の会員と共に10月27日(火)～29日(木)にかけて年金友の会(高橋昌晴会長)の秋季旅行で北見・知床へ行ってきました。

1日目
きたみ菊まつり・温根湯温泉で楽しいひととき

晴天に恵まれぽかぽか陽気の中バスでのスタート。最初は静かだったバスの中もガイドさんの楽しいトークと旅のわくわくも相まってみんな笑顔に。まずはオホーツクビアファクトリーで

仲間と一緒に楽しく、北見・知床へ行ってきました

おいしい昼食を食べて、本日のメインのお楽しみ「きたみ菊まつり」会場へ到着。

菊花コンクール展で入賞したすばらしい作品や、たくさんの菊人形など色鮮やかな菊が会場を彩り、皆さん口々に「ま〜キレイだね〜!」と堪能しました。その後は今日の宿泊先「温根湯ホテ



きたみ菊まつりにて鮮やかな花を楽しみました

ル四季平安の館」へ。お部屋でのんびりくつろいだ後は、温泉へ入り夕食は、豪華で美味しい懐石料理に箸がすすみ、程よくアルコールが回った所で、カラオケの時間となり、日頃鍛えた自慢の歌声が響き渡って盛り上がりました。

2日目
網走観光・ウトロ温泉を満喫

早朝くもり空でしたが出発する頃には晴天。たくさんの観光地へ出掛けました。まずは9時ちょうどに音楽にあわせて人形が踊る大きなからくり時計を見た後、

早朝くもり空でしたが出発する頃には晴天。たくさんの観光地へ出掛けました。まずは9時ちょうどに音楽にあわせて人形が踊る大きなからくり時計を見た後、

「お楽しみ会」

仲間と一緒に楽しい時間を過ごしました!

年金友の会(高橋昌晴会長)では、11月19日(木)マルエー温泉旅館において、45人の参加者のもと「お楽しみ会」を開催しました。

年金友の会の行事の中では、一番多くの会員が集う「お楽しみ会」が、「今年も元気に多くの仲間が集まり、開催できたことをうれしく思います」との高橋会長の挨拶で宴会に入りました。

テーブルを埋め尽くす料理に舌鼓し、余興に「別海ミドルハワイアンズ」のフラダンスで会場を盛り上げていただきました。

お酒も多少入り、カラオケが始まると皆さん日頃の練習の成果を発揮し、会場全体に素晴らしい歌声が会員皆さんの心に響きわたりました。

最後に恒例のビンゴゲームでは、上位10本には豪華賞





留辺薬町にある北の大地の水族館(山の水族館)で天然のイトウを見物しました

北の大地の水族館で天然のイトウやめずらしい淡水魚を見学。その後、博物館網走監獄ではガイドさんの説明に耳を傾けながら見学しました。昼食はオホーツクパザールでご当地グルメの網走産のオホーツクサーモンを、天然の調味料である白魚醤油に漬けて込んで揚げた「網走ザンギ」をご飯に乗せた「オホーツクザンギ丼」を堪能し、午後からはオホーツク流水館へ。流水幻想シアターで迫力のある映像を見たり、寒さで凍えるようなマイナス15℃の体感室では本物の流水を見たり、展望台からは湖や阿寒の山並みを一望しました。網走を後に途中オシンコシンの滝



どんと!マルスコイ自慢の豪華80品バイキングを存分に堪能しました



オホーツク流水館で凍りつくような-150℃の世界を体感

によりみちし、マイナスイオンで癒されました。その後今日の宿泊先「知床第一ホテル」へ。まずは歩き回った旅の疲れを温泉でゆつくりほぐし、夕食は「どんと!マルスコイ」自慢のできたて80品バイキングでエビ、カニ、ホタテの海の幸でお腹いっぱい、知床の幸を堪能しました。そのまま二次会へ直行しカラオケで飲んで歌って楽しく過ごしました。

最終日
お買い物・清里焼酎工場見学

旅行も最終日。ホテルを出発してまずは道の駅うとろ・シリエトクでお買い物。2日目まででたくさんのお土産を買いましたが、皆さんここでもオホーツクの特産品を両手いっぱいに持ちきれないほど(もう買い忘れましたか?)お土産を買いました。その後、清里焼酎工場を見学・試飲し昼食は屈斜路プリンスホテルのバイキングを美味しくいただきました。その後、帰路につき中春別に到着。運転手さんとバスガイドさんにお別れし楽しい3日間があったという間に過ぎました。皆さまのご協力が無事秋季旅行を終えることができましたことに事務局として大変感謝しております。

今回は11人と去年よりも少ない参加者でしたがとても楽しい旅行でした。次回、たくさんの方の会員の皆様が増加するのをお待ちしております。



品が当たるとあり、ビンゴの番号が読み上げられるたびに、皆さん一喜一憂し大変な盛り上がりでした。本年度の友の会の行事も順調に進み、多くの会員の皆様に参加いただきありがとうございます。また、次年度に向けて1人でも多くの方に入会していただくために、会員の皆さんからも声かけをお願いします。



”来年も、元気な姿でお会い出来ることを願っております。”

根室農業改良普及センター
営農対策情報

冬期間の牛舎環境

冬こそ換気を意識しよう！

牛舎を閉め切りがちになる冬がやってきました。ほとんどの牛が一日中を牛舎で過ごすこととなります。

冬は、牛舎環境が生産性に大きく影響を及ぼします。

冬期間の牛舎環境を今いちど確認してみませんか。

冬こそ換気が大切

牛の呼吸やふん尿からの水分、アンモニア、ホコリなどで、牛舎の空気はすぐに汚れます。

このとき換気が不十分だと、次のようなことが起こります。

- ・牛舎内の湿度が上がリ、牛床が乾きにくくなる（乳房炎の原因に）
- ・湿度が上がることと結露が発生、窓が凍り付き開かなくなる（さらに換気不足に）
- ・ホコリやアンモニア濃度が上昇し、呼吸器病の原因になる（特に若齢牛には影響大）

冬の換気方法

牛の体に直接風を当てることなく、ゆっくりと牛舎内全体の空気を入れ換えることがポイントになります。



写真1 常時、換気扇をゆっくり回して喚起する

【つなぎ牛舎】換気扇は回っていますか？

せっかく牛舎に換気扇を設置しているのに、冬になると回さなくなっていますか？

冬の換気にこそ換気扇が必要です。常時ゆっくり回して牛舎の換気を行いましょ（写真1）。

牛舎を閉め切ったまま換気扇を回しても、汚れた空気をかき回すだけです。汚れた空気を排出し、新鮮な空気を取り込むために、ウォータークップが凍らない程度に窓や扉

は開けておきましょう。

いちど窓を閉め切ると結露で窓が凍り付き、一冬中開けられなくなるおそれがあります。

風雪の強い日でも、窓は開けたままにしておき、使い終わった紙袋を窓の開いた部分に詰め込んで工夫している事例があります（写真2）



写真2 風雪の強い日は使い終わった紙袋を再利用(窓の隙間に詰める)

換気扇のない牛舎でも、暖かい日や日の当たる昼間は窓扉を開放するなど、こまめに開け閉めをしながらできるだけ新鮮な空気を取り込みましょ！

【フリーストール牛舎】牛舎は開めきらないように！

汚れた空気(牛の体温で暖まった空気)は上昇し、屋根の開口部から排出されます(図1)。

屋根の開口部は閉めきらないようにしましょ！

屋根の開口部を開放すること(排気)と同時に重要なのが、新鮮な空気を取り込むこと(入気)です。

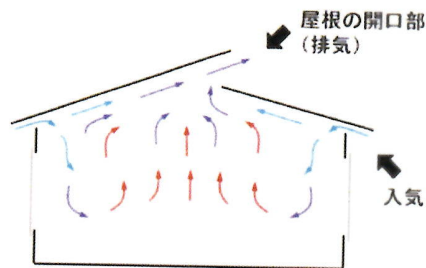


図1 フリーストール牛舎の換気構造

牛舎全体の空気を入れ換えるためには、入気部分ではできるだけ牛舎の長さいっぱい細長く必要です。牛の体に直接風が当たらないよう側面のカーテン上部などを少し開けて新鮮な空気を取り込みましょ(写真3)。

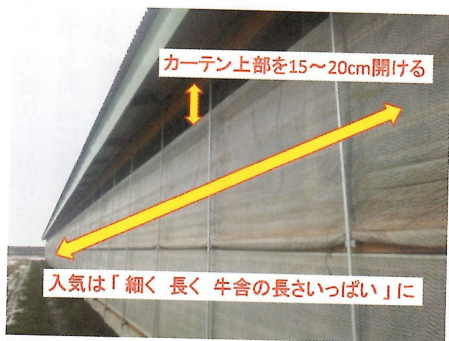


写真3 牛舎側面のカーテン上部を開けて入気する



「北海道をもっともっ」と食べようランチパーティー」が、中標津町ウエディングプラザ寿宴にて11月28日(土)開催されました。

地元の食材をもっともっとおいしく食べちゃおう

このイベントは2006年から開催され、牛乳や米などの道産食材にこだわった料理の試食、レシピ紹介を行い、地産地消の推進を目的としてJA根室地区青年部連絡協議会、JA根室地区女性協議会、根室地区酪農対策協議会が主催しており、小学生以下が無料とあって子ども連れの親が多数、今年は約300人が参加されました。

エントランスには各地区のキャラクターがお出迎えすると子供たちが喜び記念撮影する家族で大人気でした。会場内では道産米をはじめ、牛乳や根室地域の豊富な魚介など6種の料理やJA根室地区女性協が作るおつまみやスイーツの試食、レシピの配布などが行われました。

また、中春別農協青年部(兼



松真武部長)では「なかしゅんミルクロール」の試食販売を行いました。「これはどこで売っているの?」「食べやすくておいしいね」と女性や子供さんに大人気となり、約2時間で用意した20本を完売することができました!

最後には道産食材など豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会が行われ、北海道の味覚を堪能してもらえよう賞品ばかりでした。これからももっと多くの方に北海道の魅力を知ってほしいです。

もっともっ」と北海道を食べようランチパーティー





計根別同志会旗兼太陽旗全道少年野球新人戦根室管内予選大会(1市4町)が8月2日から開幕され、根室管内からは関矢泰朗監督(美原地区)率いる中春別ジュニアホークス(2年生から5年生まで総勢17人)が初出場しました。

中春別ジュニアホークス 全道少年野球大会へ初出場!

6年生が抜けた後の新チームは結成してから1カ月余り。練習は月曜日以外、毎日、学校の授業が終わる午後4時から6時半までの間、



堂々と入場行進をする中春別ジュニアホークスの選手たち

泥まみれになり、汗を流し白球を追う球児たち

監督始め3人のコーチに基本動作をみっちり指導され、泥まみれになりながら歯をくいしばり、汗を流し鍛え抜かれた選手たち。櫻井雅陽くん(5年生)、妻沼紘聖くん(5年生)2人のピッチャーと走・攻・守揃ったチームに「今年は良いところまで勝ち進むぞ」と手応えを感じながら臨んだ新人戦。練習の成果を発揮し順調に勝ち進んでいく中春別ジ

ュニアホークス。決勝戦は別海中央Jrイーグルスとの手に汗握る白熱した試合となり6対4で創部以来30余年、念願の初優勝を勝ち取りました。その瞬間、監督、

コーチ陣も抱き合い、思わず涙を流しました。憧れの舞台がついに9月19日から札幌市で開催された太陽グループ杯争奪第22回全道少年野球選抜大会。地区予選の勢いそのままに意気揚々と乗り込んだ選手たち。多くの父母が見守る中、第1試合が初日に行われ日高地区代表と対戦。試合前から今まで経験したこと

ない大観衆と雰囲気飲み込まれる選手と首脳陣。それは試合が始まってからも変わらず、緊張のあまり浮き足立ち、普段通りの野球ができず守備が崩れ、失点が増えてエラー絡み。打っては今まで対戦したことのない「左の本格派」に2安打完封と押さえ込まれ、自分たちの野球ができないまま6回コールド負けを喫してしまいました。

「平常心で野球ができる」ために、さらに技術的にも精神的にもひと回りもふた回りも大きく成長され、再び全道大会を目指してください。

関矢監督を始めコーチの方々、選手の皆さん、そして、子供たちを影から支えてくださった地域の人たち、父兄の皆さん大変お疲れさまでした。



緊張のあまりいつもの実力がでないまま…



【経営科】農ク全国大会、堀君が入賞!

10月21日(水)、22日(木)に群馬県で開催された学校農業クラブ全国大会に本校から3人の生徒が出場しました。大会期間中は好天に恵まれ、北海道から参加した私たちに



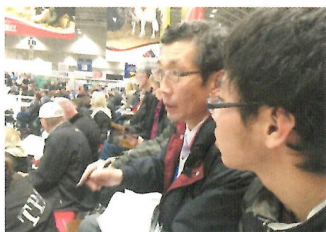
大会式典会場にて

っては少し汗ばむような気温の中での大会となりました。本校からは、農業鑑定競技では3年生の井上季音君と2年生の堀有樹

君が畜産コースに出場しました。また、代議員会には3年生の内田佑机君が東北北海道連盟を代表して会議に参加しました。大会の結果、2年生の堀有樹君が畜産コースでは昨年を引き続いて入賞を果たす活躍してくれました。大会式典では全国大会で最優秀賞を受賞した発表を参観し、充実した取り組みを学習できたのは大変良い機会となりました。また、農業高校を応援する議員連盟より石破茂様からも熱のこもったメッセージをいただき、多いに刺激を受けた大会参加となりました。結果は、次のとおりです。【農業鑑定競技(畜産)】堀 有樹(2年) 優秀賞

●【経営科】海外研修を実施!

11月9日(月)より16日(月)の8日間本校生徒の海外視察研修が行われました。別海町酪農後継者を育てる会(原井松純会長)と別海町のご支援のもと、カナダの酪農視察を



山口団長から説明を受ける生徒

実施しております。今年は、昨年度同様ローヤルウインターフェアと合わせ、ケベック州の酪農場3戸を視察いたしました。世界最高峰のウシ達、それを支える農場は見応えが十分であるとともに、日本との大きな違いを実感させられるものとなりました。詳細は次号にてお伝えいたします。

●【専攻科】新規参入者交流会へ参加

10月16日(金)、根室管内新規参入者交流会が中標津町で開催され、専攻科学生10名が参加しました。根室管内農業士会が新規参入者・研修生・後



佐藤さんの発表

継者に呼びかけ、関係者を含めて約50人が集まったの交流会となりました。

「私が目指す酪農」というテーマのもと、専攻科学生の佐藤さんが法人研修生の立場からの事例発表をおこないました。その後、グループ毎に分かれての討議と昼食交流会がおこなわれました。

グループ討議では、紹介者として参加した佐藤さんはじめ、参加学生は、新規参入者の皆さんや指導農業士の皆さんと今抱えている問題点や、改善すべき点について、活発に相談や討議をおこない、今後の農場経営に向けた良い刺激と、多くのヒントを得ることができた様子でした。また、その後の昼食会においても、参加者との交流を深め、実りある交流会となりました。

●【専攻科】“あ・ら・かると”交流会

11月6日(金)根室農業改良普及センターで、ねむろ農村女性グループネットワーク協議会主催の“あ・ら・かると”交流会が行われました。

農業特別専攻科1年目学生の佐藤さんと酒井さんが交流会に参加し、女性部の皆様が作ってくださった料理を食べながら様々なお話を聞くことができ、より深く交流ができたと思います。こういった機会を是非、今後の学生生活に生かしてほしいです。

●【専攻科】草力展2015へ参加

11月9日(月)にホクレン根室地区家畜市場にてネムロ草力活性化プラン「草力展2015」が開催され、専攻科学生も展示会やサイレージ品評会へ参加させていただきました。



各ブースを訪問中

フォーラムでは、子宮内膜炎を減らす飼養管理のポイントについて、また、これからの草地更新・植生改善について聴講し、日々乳牛の管理と草地管理を実践している学生にとって、非常に良い機会となりました。

また、サイレージの品評会では真剣にサンプルのサイレージの色・臭気などを参考の成分表と見比べながら検討し、各展示ブースでは、新商品の説明や各企業の取り組みについて耳を傾け、経営に生かせる良い草づくりに向けたヒントを多く得た様子でした。

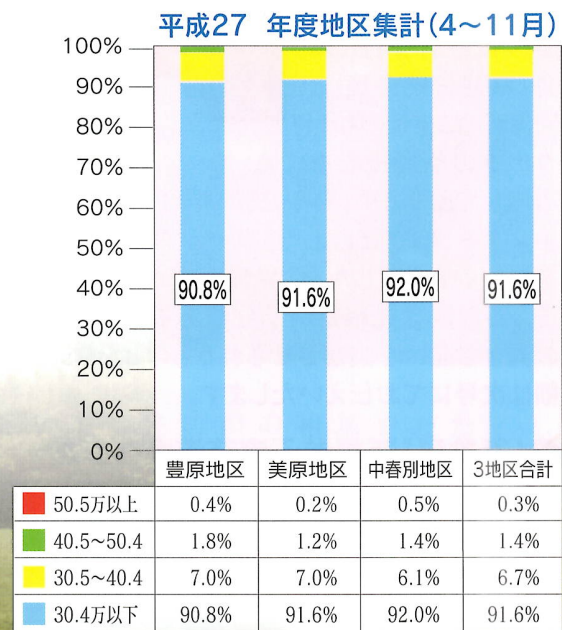
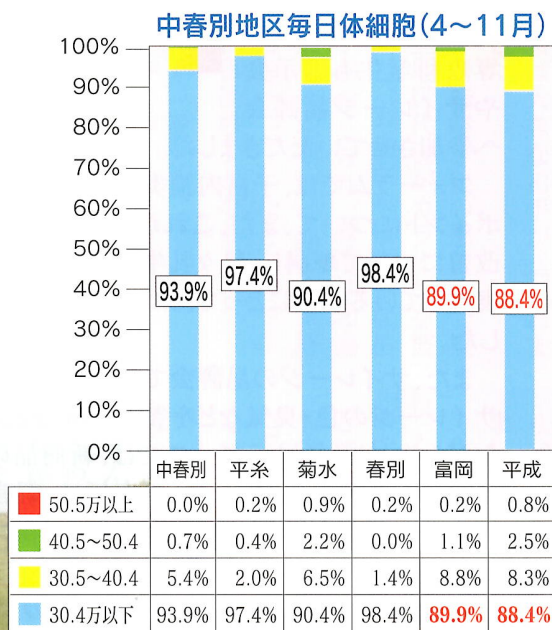
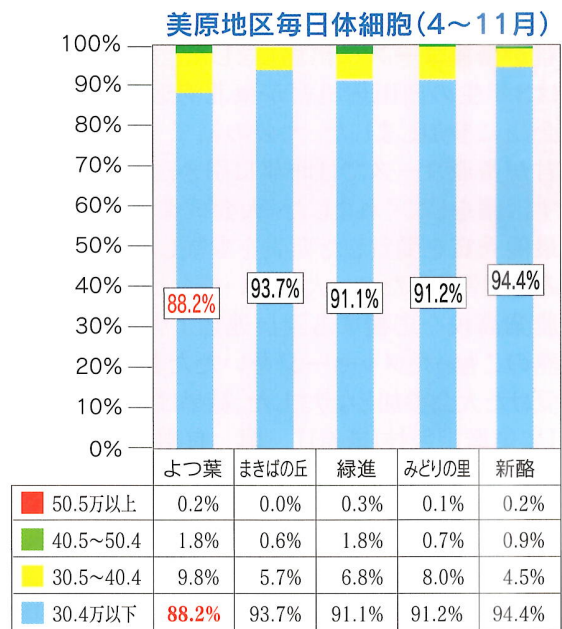
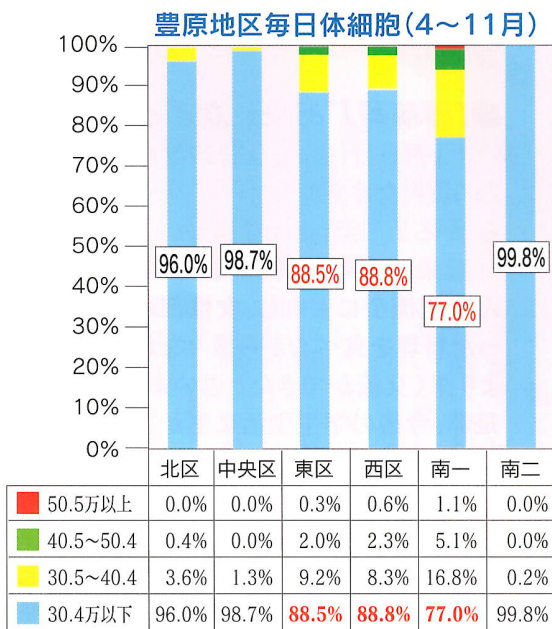
今後、冬期間のうちに各学生は、今回の展示会・フォーラムで得たことを参考に、実際に専攻科で各圃場の土壌分析や飼料分析をおこなうことで、各農場に合った粗飼料生産と飼養管理を目指していきます。



生乳汚染事故を無くそう！

- **抗生物質混入事故**..... JA中春別発生件数 **2件** 管内合計では**8件**です。
- **生菌による汚染事故**..... JA中春別発生件数 **0件** 管内合計では**0件**です。
- **異物混入、加水、血乳**による汚染事故..... JA中春別発生件数 **0件** 管内合計では**2件**です。
- **異臭、異常風味**による汚染事故..... JA中春別発生件数 **0件** 管内合計では**0件**です。

哺育管理は大丈夫？
 寒冷期を迎えて清潔で乾燥した十分な敷料や、隙間風の対策など寒さによる子牛の事故防止に努めよう。



第9回 理事会の動き

平成27年11月27日(金)

議案

1. 年末年始の業務日程について
2. 資産査定要領の一部改正について
3. 平成27営農年度財産造成に伴う資金の借入・貸付について
4. 平成27営農年度災害復旧特別資金の貸付について
5. 平成27営農年度経営改善促進支援資金の貸付について
6. 平成27営農年度クミカン取引に係る貸越極度額及び供給限度額の変更について
7. 平成27営農年度クミカン精算に係る資金の貸付について
8. 平成27年度JA畜産経営継承支援事業に係る固定資産の取得と処分について
9. 固定資産の取得について

報告事項

1. 平成27年度9月末定期監査報告について
2. 固定資産の実査の終了について
3. 平成27年度9月末子会社の監査報告書について
4. JAバンク2015ラストWチャンスキャンペーンの実施について
5. 平成27年度10月末営農生産関連実績について
6. 平成27年度草地難防除雑草駆除対策事業に係る実績について
7. 平成27年度糞尿利活用草地整備改良事業に係る実績について
8. 平成27年度飼料生産型酪農経営支援事業について
9. 生乳抗菌性物質汚染事故に対する生乳補償互助会の支払いについて

10月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

10月分乳代支払単価

			単 価	算 出 基 礎	支 払 価	前 年 期	差	項 目	単価(円)/(kg)%	
乳 脂 肪 分			909.948		36.29	34.81	1.48	乳 脂 肪 分 ①	36円29銭	
無 脂 乳 固 形 分			576.601		50.82	48.70	2.12	無 脂 乳 固 形 分 ②	50円82銭	
補 給 金			3.9927		3.99	3.65	0.34	補 給 金 ③	3円99銭	
計 画 チ ー ズ 奨 励 金			1.6938		1.69	1.70	-0.01	チ ー ズ 奨 励 金 ④	1円69銭	
乳 質 単 価	生 菌 数	ランク1	2	302,069,708.5kg	3.75	3.72	0.03	脂 肪 率	全 道	3.99%
		ランク2	0	5,828,756.6kg				農 協	4.02%	
		ランク3	-3	137,201.8kg				無 脂 固 形 分 率	全 道	8.81%
	体 細 胞 数	ランク1	2	259,552,484.0kg				農 協	8.75%	
		ランク2	1	25,420,463.0kg				成 分 乳 価	全 道	92円79銭
		ランク3	-2	4,653,240.5kg				①+②+③+④=⑤	農 協	91円4銭
合 計					96.54	92.58	3.96	乳 質 乳 価 ⑥	全 道	3円75銭
								農 協	3円76銭	
								乳 代 合 計	全 道	96円54銭
								農 協	94円80銭	
								⑤+⑥	差 異	-1円74銭

第一印象は笑顔としぐさで決まる 第2回JA窓口担当者交流大会

千葉県浦安市ヒルトン東京ベイホテルにて、11月19日から20日にかけてJA窓口担当者交流大会が行われました。

当日は130人(内3人が道内から参加)全国のJA窓口職員が集まり、会場を埋め尽くしました。

1日目は、JAバンクイメージキャラクターの女優松下奈緒さんをゲストにトークショーと記念撮影を行いました。その後は別会場にてお客様とのコミュニケーション、お客様との対応、職員間の連携と3つのテーマに分かれグループディスカッションを行い、各JAでの対応や取り組み内容について話し合い、今後の課題についての意見交換を交わしました。

夜にはフレンチのコース料理を食べながらの交流会とアトラクションがあり、芸人トレンディーエンジェルのお2人のコントで会場は笑いに包まれました。笑いに包まれた後は、川越シェフが登場し目の前で料理実演。また、手作りのロールケーキが振る舞われ、会場内は心も体も満たされ大いに盛り上がりました。

2日目には、1日目のグループディスカッションの発表を行い、3つのテーマについて現状と今後の課

題を把握することができました。発表後は「明石家さんまのホンマでっか!?TV」など、テレビで活躍の印象評論家、重太みゆきさんの記念講演が行われ、90分間で笑いを交えながら職員の印象を一気に変え、最後には貴重な体験談を聞かせていただき大会の幕を閉じました。今回の研修で各地の様々なJA窓口の特徴などを知ることができ、また、人の印象は第一印象が初めの0.5秒で占める割合が80%と、表情や仕草がいかに大事かを学ばせていただきました。組合員さんや利用されるお客様とのコミュニケーションを大切にし、笑顔を絶やさず、これからの窓口対応を行いたいと思います。



“コンプライアンス研修会”

JA北海道中央会根釧支所の元木貞貴職員を講師に迎え、10月28日(水)に「コンプライアンス研修会」を開催しました。

今回は、「不祥事件等の発生状況」・「マイナンバー法の実務対応」をテーマに全職員向けに実施しました。

特に、平成28年1月から、健康保険、年金等の提出書面、税務申告等に係わる書類に個人番号を記載するなどの対応が求められるため、参加者は真剣に耳を傾けていました。



28年1月からマイナンバーの取り扱い対応の説明に耳を傾ける職員

講師のJA北海道中央会根釧支所の元木職員からの説明

1日皆貯金65,525千円達成!!

皆様のご協力ありがとうございました。

10月13～14日にかけて行われました1日皆貯金の集計結果は以下の通りとなりました。

目標額50,000千円、実績65,525千円(前年比120.6%増209件)目標金額を上回ることができました。お忙しい中、皆様のご協力ありがとうございました。

ボランティア組織「そよかぜ」のウエス寄付

ボランティア組織そよかぜ(久保二大代表)によるウエス寄付ですが、今年はJA中春別給油所と特別養護老人ホーム『清翠園』を訪問しました。そよかぜ会員の皆さんが丁寧に細断したウエス4箱を寄付しました。給油所と清翠園の職員の方々からは「ウエスが不足する時は、購入することもあり大変助かります」と喜んでいただきました。

そよかぜが回収しているウエスとは、着なくなったり不要になったりした衣類やタオルなど布製品です。(木綿50%以上の布製品、ボタンやファスナーを取り外しているもので、Tシャツやタオル等です。ウエスにならないものは、セーター、カーディガン、布団、毛布、帽子、パンツやくつ下の下着類、ベビー服です)ご家庭で不要なウエスを寄付していただける方は農協金融窓口・掲示板下のウエス回収ボックスまでお願いいたします。

A T I O N

平成27年度 年末・年始の業務日程表

休業

日 程 区 分	平成27年			平成28年						
	12/30(水)	12/31(木)	1/1(金)	1/2(土)	1/3(日)	1/4(月)	1/5(火)	1/6(水)	1/7(木)	
事務所(除く信用)	午前中のみ営業									御 用 始
事務所信用窓口	平常業務					平常業務	平常業務	平常業務		
Aコープ中春別	午後3時まで営業			午後3時まで営業			午後3時まで営業	平常業務		
給油所	午後5時まで営業 (給油・配送)	9時～15時 (給油・配送)			9時～15時 (給油・配送)	8時～17時 (給油のみ)	8時～17時 (給油のみ)	平常業務		
倉庫	午前中のみ営業					平常業務				
訪問介護事業所 「あさひな」	平常業務				サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ	サービス提供のみ		
人工授精	平常業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務	午前中のみ業務		
共和育成牧場	(家畜管理業務のみ)									
生乳	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	抗生物質検査のみ	平常業務	平常業務	平常業務		
中春別マンセンター	午前中のみ営業						午前中のみ営業	午前中のみ営業	御用始	

※農業機械・車両整備の連絡先 佐藤専務(携帯)090-9759-6449 土屋工場長(携帯)080-6086-3273

働ジェイエー・ワンプ	午前中のみ営業								御用始
------------	---------	--	--	--	--	--	--	--	-----

※作業依頼の連絡先 猿谷専務宅76-2076
久保山課長(携帯)090-1529-9846

ATM稼働日について
当JA 12/31(木)～1/3(日)休業
1/4(月)より平常営業
ゆうちょ銀行・セブン銀行は年内12/31、1/1、
1/2は稼働
1/3のみご利用できません

- ◎販売関連業務
- (1)初生トク集荷
年内最終集荷12月29日 年明集荷1月5日
 - (2)哺育・育成集荷
年内最終集荷12月30日 年明集荷1月7日
 - (3)ホクレン市場
最終開催日12月23日 年明開催日1月6日

◎人工授精業務 午前中のみ業務、午後から休業

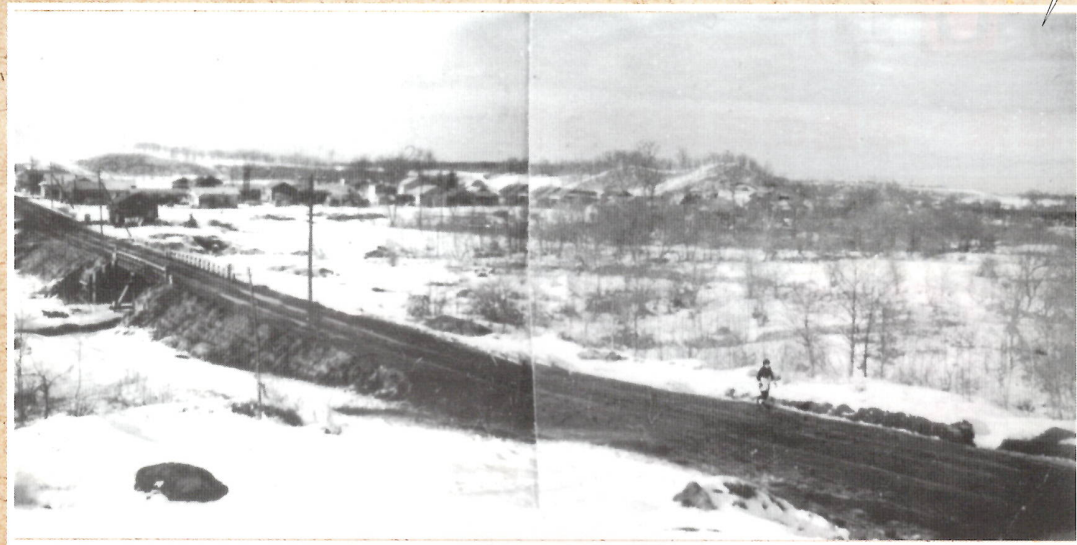
◎緊急時の連絡先

- (1)停電 …………… 北電72-2010
- (2)除雪 …………… 平間課長宅0153-86-2130、福島次長宅76-2157
- (3)給油 ……………(緊急携帯)田中係長080-6090-2923
- (4)飼料等配送 ……………(緊急携帯)別海貨物(山口)090-5072-3954
- (5)生乳検査 …………… 平間課長宅0153-86-2130(緊急携帯)090-2076-4014
- (6)夜間バルク抗生物質検査 ……(緊急携帯)090-2076-4014
- (7)FAX故障 …………… 赤井担当080-6096-5387
- (8)その他 …………… 真部課長宅76-2576、登部長宅75-0517

**ヘルパー
年末年始
緊急連絡**

JA中春別酪農ヘルパー利用組合年末年始業務日程

- 年末年始休業 12月31日～1月3日 (12月31日夕方～1月4日朝の業務)
- 業務開始 1月4日 (1月4日夕方の業務) から通常業務開始
- 緊急ヘルパー受付
 - ★農協営業日 営農振興課 電話76-2241番
 - ★農協休業日 高野営農振興課長 携帯電話 090-9515-0264
 - 水谷営農振興係長 携帯電話 080-5593-5318



懐かしきあの頃… そして今。

今月は「中春別市街周辺」について回想したいと思いま

す。
別海地方は元禄時代から村落の形成が始まり、厳しい冬の風雪にも移住者によって開拓が進められてきました。中春別市街については、昭和2年5月に秋田県から菅

原良吉一家8人が平系原野(今の中春別市街)に移り住んだのが中春別市街地移住者の第一号です。当時は原野そのもので、建物も駅と鉄道職員詰所の2カ所しかありませんでした。昭和4年から市街地の区画整備が開始し、郵便取扱所、寺、商店が立ち並び初め6年頃には20戸余りの市街になりました。「密林におおわれた荒地をやっとの思いで馬ど開墾したが畑の土質も悪く、収穫は無く現金収入のため道路工夫や木炭を売ってなんとか生活していた」と入植者の苦労は絶えませんでした。その後は道々沿いや春別川沿い周辺には移住者が合計100戸となりました。

昭和9年10月に、西別(今の別海市街一帯)から鉄道が延長されると更に移住者が増えて、同年の調査によると各原野への移住者が262戸と一気に増大し、旅館や商店も駅前に移転し市街地は28戸に及びました。鉄道の開通によって物資はもちろん、人々が駅周辺に増え影響は大きかった事が伺えます。交通整理が進み市街地はますます発展し、昭和11年には43戸、174人。しかし昭和14年には34戸149人と10年頃に起こった大凶作の影響のため一時減少しました。その後、しばらくは小康状態が続き、29年の市街地は48戸あまりでした。31年に根釧パイロットファームの建設と入植が開始し急激な伸びがあり、49年には195戸を数えるほど発展しました。29年までの市街地は、学校、農協、集乳所ほどしかなかった公共施設も、開発局事務所、診療所、消防所、公民館や商店などが立ち並び、市街地の地形も重機で削られた後に宅地となっ、駅前の様子も一変しました。

昭和46年4月に町制のため「別海町」と改まり、市街地は春別川を境に南町、西町、東町と区画され番地が設けられました。その後は現在のような「緑豊かな大地、牛達を群れる」酪農の郷、別海町中春別が發展していきました。中春別市街地の開基は昭和4年(1929年)となっ、20年後の2019年には開基90周年を迎えます。

編集後記

流行語大賞や、紅白歌合戦のニュースを見ると年の瀬を感じます。皆さんも年末年始に向けて何かと忙しい日々を送っている事と思います。流行語大賞といえ、大賞の「爆買い」の他、トツテン入りには、ラグビー経験者としては何といつても「五郎丸(ポーズ)」がノミネートされたことは嬉しかった反面、五郎丸選手個人も受賞時に語っていた通り「ラグビー日本代表チームのスローガン、日本流に戦う」という意味の「JAPAN WAY」がノミネートされて欲しかった。という意見に強く賛同していました。ラグビーという競技は、時折会社等の組織に例えられることがあります。その共通項は、主導者に強いリーダーシップが求められる事、相手への敬意は忘れてはいけない事等挙げるとキリがありませんが、一番は同じ組織(チーム)でも人それぞれで役割が異なり華やかに見える仕事の裏には普段は日の目を見ることが少ない人の仕事も重要である事。つまりヒーローはひとりではなく、組織が同じベクトルに向かって遂行する事の大切さや難しさを世間の皆様知って貰いたかった。という決して善る気持でない五郎丸選手の強さを垣間見ることができ、次回19年日本開催ワールドカップでは強豪国として世界から認知され子供達の憧れの日本代表になるよう期待したいと思えます。

7月よりくみあいだよりの担当を命ぜられ、地域のニュースを伝えられるような広報誌づくりを目指しておりますので、行事等の話題がある方はこれからも募集いたしますので気軽にご連絡下さい。

懐かしきあの頃…そして今。のコーナーですが、今月号を持ちまして終了いたします。青野芳樹様の他、多くの方々から取材や写真等を提供して頂き感謝申し上げます。

12月に入り本格的な降雪シーズンになります。交通安全には十分な注意が必要です。健康で家族団らんの良い年を過ごせますよう、お祈りいたします。